

☆第IV期 SSH 事業について

高崎高校は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として、令和3年度から第IV期を迎えました。今年度はその2年目の活動となります。指定期間は5年間です。

群馬県立高崎高等学校 第IV期SSH事業 全体概要

目的：Society5.0時代を牽引するリーダーとして、主体的に課題を発見し、学際的な視野を入れて科学的論理的に考え、協働して課題解決を図る人材を育成する。

Society5.0時代を牽引するリーダーとしての資質・能力（全生徒対象）

知の活用

幅広い科学的素養を用い、学際的な視点で課題を解決できる資質・能力

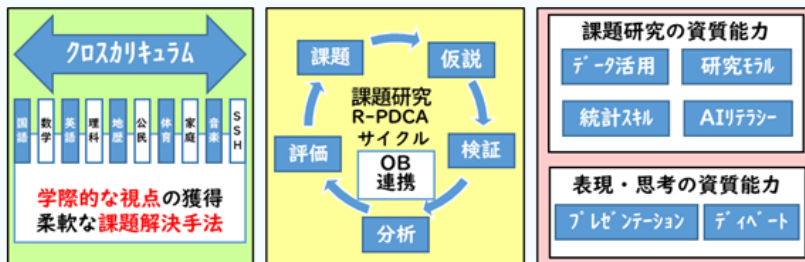
知の深化

主体的に課題発見し、科学的に解決（探究）できる資質・能力

知の交流

科学的・論理的に考え、探査・発表・議論できる資質・能力

「知の活用」「知の深化」「知の交流」を育てる教育手段



「知の活用」「知の深化」「知の交流」を育てるSSHのカリキュラム



◎コース内全員履修科目 ○コース内選択者履修科目 [単位数] 全ての生徒を対象の科目

※スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは

高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。

☆(2学年)SSH 高大連携講座について

7月6日に「先輩、教えてください！」(県内OB企業訪問)を実施し、社会の実態や職業観についての知見を深めるとともに、課題研究で取り組んでいる「ビジネスプラン」についてご指導・ご助言をいただいたりしました。また、初の試みとしてSSHクラス(2年1組)では、訪問先を春から行っている課題研究のメンター(指導者)がおられる企業や大学として、進捗状況の報告やそれについての助言などもいただきました。

サイエンス・コミュニケーションⅡ(SCⅡ)の活動として、4月27日(水)に群馬大学の中村賢治先生を講師として『AI講座』を、群馬大学の青木悠樹先生による『IoT講座』(リモート実施)を開講しました。AI講座では「Google Colaboratory」というアプリを用いて、AIに写真を学習をさせて、どんな写真を認識する活動を行い、IoT講座では、高高から青木先生の研究室の明かりのスイッチを入れるといったIoTの活用の可能性について学びました。



☆(1学年)課題研究入門講座

第1学年はサイエンス・プロジェクトⅠ(SPⅠ)を通じて、課題研究の基礎を習得することを目標としています。1学期は『プレ探究講座』を実施しました。『プレ探究Ⅰ(科学的探究)』では「自作ばねの作成」を題材にして、変数の数値化、対照実験等の科学的探究の過程を学びました。授業では班ごとに分かれて意見を出し合いながらばねを作成し、試行錯誤を繰り返しながら強度の計測を行っていました。「プレ探究Ⅱ(統計的探究)」では、高高のマラソン大会の8年分のデータをもとに、所属部活動や年度による違いを各自が分析して、統計データの分析方法を学びました。

